

小項目評価におけるウエイトについて

1 ウエイト設定の目的

項目別評価における大項目評価は、小項目評価結果3～5の小項目数の割合により判断するが、場合によっては、重要度が低い小項目の悪い評価に、重要度が高い小項目の良い評価が影響され、大項目評価が低くなってしまふという弊害が懸念される。

したがって、大項目内における小項目ごとの軽重が評価の際に反映されるようにするため、ウエイトを設定する。

2 ウエイト設定の方法

配点でウエイトを設定するという一般的な方法については、業績評価が点数の高低で他との優劣を判断するものではないので、本評価基準にはなじまないものと考えられる。

したがって、本評価基準におけるウエイトの設定については、重要度が高い(と思われる)小項目を複数で算定するという方法で行う。

なお、その場合のウエイトの大きさについては、原則として「2」(項目数を2倍)までとする。

【例：重要な小項目A, C, Fのウエイトを「2」(項目数を2倍)と設定した場合の評価結果】

